

大型建物跡を  
目の当たりに

紫香楽宮跡第40次発掘調査の現地説明会が1月22日、信楽町宮町の宮町遺跡で行われました。  
今回の調査終了に伴い埋め戻されてしまったこともあり、説明会には地元をはじめ近隣府県から多くの考古学ファンなどが訪れました。  
宮跡の中心区画である「朝堂」の北方には重要な区画があり、今回見つかった遺構は、その区画を構成する並立した2つの建物のうちのひとつとみられ、これまで見つかった建物跡のなかでは、3番目に大きなものです。  
参加された皆さんは、調査にあたった市教育委員会職員の説明を熱心に聞き、古代の都の姿に思いをさせていました。

紫香楽宮跡・現地説明会



▲大型建物跡を囲んで説明を受ける

手作りの落款で  
個性豊かな作品に

伴谷幼稚園

1月19日から20日にかけて、伴谷幼稚園の「書に親しむ」機会として、園児48名が作品づくりに挑戦しました。

初日は、自分の好きな一文字を書き、二日目には、親子で作品に押すための名前やイラスト入りの落款を作りました。

講師を務めた西井清一さんは、「一度しか書けないという緊張感を持ち、そのプレッシャーを乗り越えての達成感や楽しさを感じてほしい」と、子どもたちの真剣な表情を見守っていました。

子どもたちは、かわいい出来ばえに歓声を上げていました。



▲上手に押せたよ

1本の襷に「絆」の思いを込めて

第8回甲賀市民駅伝競走大会

第8回甲賀市民駅伝競走大会が1月22日、甲賀市陸上競技場で行われました。一般男女、高校生、中学生、小学生の部など計11の部門別で行われ、市内外から参加した66チーム330名が健脚を競いました。  
参加者は沿道の声援を受けながら走り、襷をつなぎました。  
この日、大会最高齢79歳で参加された長浜市の山口文子さんは「昨年ひ孫と2kmのマラソンに出場したのがきっかけで、今回参加しました。チームに迷惑がからないようがんばります」と意気込みを語られ、本番では力強い足取りで走る姿に、沿道から惜しみない拍手が送られました。



▲次々と襷をつなぐ参加者

親子で鬼の  
お面づくりに挑戦

甲賀子育て支援センター

甲賀子育て支援センターが開催するキッズランドで1月31日、鬼のお面づくりが行われ、参加した親子16組が、お菓子の空き箱を利用したお面づくりや豆まきなど、一足早く節分を楽しみました。  
参加した親子は、相談しながらカラーテープや糸を用いるなど工夫を凝らし、カラフルで色んな表情のお面に仕上げました。

また、鬼の姿が突然窓の外に現れると、子どもたちは驚きながらも懸命に「鬼は外」と豆をまき、鬼退治をした子どもたちは、ばんざいをして喜びました。



お面づくりに熱中する親子

鍛冶職人の技を  
肌で感じて

甲南第二小学校で1月27日に鍛冶屋体験教室が開かれ、参加した6年生23名が、昔ながらの方法で鉄の加工に挑戦しました。  
講師を務めた守山市の鍛冶職人馬本猶次郎さんは、40年にわたり農具製造に携わってこられました。「体験することで、子どもたちに興味を持ってもらいたい」と、特製の小型炉を持ち込み、職人の技を披露しました。  
生徒は、馬本さんの指導のもとで加工に挑戦し、思い通りの形に仕上げようと苦戦していました。

第13回宇川会館健康福祉フェア

楽しく体を動かし交流を深める

宇川会館の健康福祉フェアが1月28日に行われ、地域の人たちが交流を深めました。  
このフェアは、「福祉と人権でまちづくり」をテーマに同館で毎年開催されているものです。



▲もちつきを楽しむ参加者

オープニングのもちつきでは、子どもたちも参加し、周囲の掛け声に合わせて懸命に杵を振り下ろしていました。  
館内では、手話教室の発表や子ども権力大会のほか、「みんな身体を動かそう」と輪投げなど3つのミニゲームが用意されました。大人も子どもも夢中になり、一投ごとに歓声があがりました。

甲南第二小学校・鍛冶屋体験教室



▲初めての鍛冶に挑戦